

6年生の算数では、こんな力をつけよう！ 伸ばそう！

教科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。
- (2)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う
- (3)数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

学年の目標 ～つきたい力～

- (1) 分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにします。
- (2) 数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだし、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養います。
- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養います。

授業内容

【1学期】

・文字を使った式 ・分数と整数のかけ算、わり算 ・対称な図形 ・分数のかけ算 ・分数のわり算

【2学期】

・データの見方 ・円の面積 ・比例と反比例 ・角柱と円柱の体積 ・比 ・拡大図と縮図

【3学期】

・並べ方と組み合わせ

評価の観点 ～伸ばしたい力～

知識・技能

・分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解している。

・分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。

(テストやノート等の記述など)

思考・判断・表現

数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだし、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを身に付けている。

(テストやノート等の記述、活動の様子など)

主体的に学習に取り組む態度

数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。

(活動の様子や言動、発表や記述など)

6年生の国語では、こんな力をつけよう！ 伸ばそう！

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標 ～つきたい力～

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。
- (2) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにします。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

授業内容

【1学期】

- ・視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう ・話の内容をとらえて、自分の考えをまとめよう
- ・筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう
- ・具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう

【2学期】

- ・目的や条件に応じて、計画的に話し合おう ・表現の工夫をとらえて読み、それを生かして書こう
- ・登場人物の関係をとりえ、人物の生き方について話し合おう ・作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう
- ・日本文化を発信しよう ・伝統文化を楽しもう

【3学期】

- ・筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう
- ・伝えたいことを明確にして書き、読み合おう ・資料を使って、効果的なスピーチをしよう
- ・登場人物の関係をとりえ、人物の生き方について話し合おう

評価の観点 ～伸ばしたい力～

知識・技能

日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。(活動の様子や言動、テストやノート、作文等の記述など)

思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。(活動の様子や言動、テストやノート、作文等の記述など)

主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。(活動の様子や言動、発表や記述など)